

大型連休

真夏のような暖かい日が続いたGW連休の前半をいかがお過ごしでしょうか。会員の中には10連休の方もおられますが、大半の先生は真ん中の平日は診療をされているようです。新型コロナは減少しているものの、去年はこの連休を境にまた増え始めた経緯があり、保健所は今年もその傾向があると予想しており、油断はできません。

私が開業した当時、昭和60年代から平成にかけての御殿場市郊外はまだまだ農業が盛んで、大型連休だからと言って、家族そろって外に出かける家庭はむしろ少数派で、多くの家庭が田植えや、お茶積みの仕事で汗を流し、連休は働く日々が当たり前感覚でした。そんな雰囲気の中、医師である私自身も開業当初から在宅に取り組んでいたこともあり、いつ患者さんから呼ばれても帰れる範囲で余暇を楽しんできました。実際、伊豆のサボテン公園からとんぼ返りしたこともあり、今となっては懐かしい思い出です。月日は経って、ケアマネや訪問看護などの介護サービスが充実し、今はどこにでも遊びに行ける体制は整いましたが、御殿場市救急センターの管理者としての責務もあり、10連休はもう少しお預けです。

当たり前のことですが、病院や介護施設に休みはありません。私の義理の父がずっとお世話になっていたH介護医療院で働く職員は本当に心の行き届く介護を連休の間もしてくれていました。余暇を楽しむことも大事ですが、必要とされるうちはもう少し働こうと自分に言い聞かせる今年の連休の日々です。

